

66号
2025.11

清田区 社協だより

Kiyota-ku Shakyo Dayori

毎月3日は
見守り訪問の日



親子で
石鹸づくり体験



初めての
高齢者疑似体験



最後にみんなで記念撮影！

8月5日(火)に北海道コカ・コーラボトリング株式会社様にて「親子ボランティア講座」を開催しました。

当日は、12組26名の参加があり、前半はSDGsに関する講話と石鹸づくり体験を行い、後半では高齢者疑似体験セットを用いて高齢者体験を行いました。

今年で2回目の開催になりますが、今回も小学生だけではなく、保護者の皆さまも気づきや学びのあるものになったと思います。

今回体験した内容を、お友達やご親戚にもお伝えいただき、若い世代が福祉に関心を持つきっかけとなればと思います。

もくじ Contents

- ★町内会探訪記 VOL.45 P2
- ★クイズ
『清田区で活動している団体から』VOL.14... P3
- ★清田区各地区福祉のまち推進センター
運営委員長のご紹介です！ P4
- ★「みんなで一緒に、楽しいつながりを！！」
清田区福祉のまち推進センター 活動交換会 P5
- ★シリーズ：ホームヘルパーってどんな仕事？ P6
- ★有償ボランティア 登録説明会のご案内 P7
- ★愛情銀行への寄付のお礼、
賛助会員のご紹介 P8



町内会探訪記

VOL.45



渡邊 真弓会長

平岡地区 南北野町内会

世帯数…583 世帯

清田区



▶町内会の概要

昭和 50 年に設立され、今年で 50 周年を迎えます。

世帯数は、設立当時は 176 世帯でしたが、平成 17 年には 712 世帯になり、現在は 583 世帯となっています。

町内会行事としては、お寺の敷地で行う「雪明りのつどい」や、1 日子どもたちと一緒に「夏休みラジオ体操会」等を行っています。

最近は SNS (LINE WORKS) も活用し、電子回覧や町内会行事の中止連絡をしたりしています。

▶町内会の高齢者支援活動について

平成 10 年に福祉推進委員会が発足し、見守り活動や年 1 回粗品をお渡しする配布事業等の取組みを行っています。

福祉推進委員は現在 17 名おりますが、その約半分が発足当初のメンバーです。

また、年度初めに開催する町内会の役員会で各班長にも「何か困ったことや異変があれば、福祉推進委員や民生委員につないでください」とお伝えしています。

その甲斐もあり、郵便受けに郵便物が溜まっているところを発見し、関係機関に繋ぐことができました。

その方は入院していたことが分かり、何事もなかったのですが、町内会の中で上手く連携できた一件だったと思います。

今年は、清田区第 1 地域包括支援センターさんにご協力いただき、「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

若い方は日中働いていると思いますので、元気な高齢者が元気のない人を支えられるよう、知識を得られる良い機会になりました。

▶今後の取り組みについて

現在、町内会でしてほしいことや防災に関するアンケートの集計をしていますので、その結果から今後の町内会活動に活かしていく予定です。

また、町内会役員としてご協力いただく方が、負担も少なく楽しく続けられるように体制も整えていきたいと思っています。



雪明りのつどい
写真：ひろまある清田様より



夏休みラジオ体操会
写真：北野地区町内会連合会様 HP より



令和7年12月吉日
札幌市清田区社会福祉協議会

「清田区社協だより第66号」に関する訂正とお詫び

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より、本会地域福祉事業の推進に対し、格別なるご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この度、同封した清田区社協だより第66号の記事に下記の通り誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

この度は、ご迷惑をお掛けいたしまして、誠に申し訳ございませんでした。

今後、再発防止に努めてまいりますので、何卒ご容赦賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

記

〈訂正箇所〉P2. 町内会探訪記 VOL. 45 の地区名

(誤) 平岡地区

(正) 北野地区

以上

Qクイズ 清田区で 活動している団体から

VOL.14

「さっぽろ・子ども未来応援団 子ども待合室」からの出題

◆活動の紹介

子どもたちと一緒に温かい食卓を囲み会話
の中でおうちでの困りごと、心配なコトを何
でも相談できる居場所です。

開催日は、隔週／土曜日・日曜日・祝日 11時
～18時(月1～2回開催)開催し出入り自由で
小学生以上は子どもだけでも参加できます。

参加費

- ◆幼児：無料
- ◆子ども：100円
- ◆学生・大人：300円



子ども待合室からの メッセージ

「子ども待合室」では、食事の提供、習
い事、学生ボランティアと一緒に学習サ
ポート、部活動の送迎や仕事と子育てを
両立できる環境を創造して参ります。

またピアノ室や読書スペースも一般開
放しています。

「子ども待合室の連絡先」

電話：090-5070-4080
mail：grace.heroine@gmail.com

ご不明なことはこちらへ連絡を！

【問題】

清田区には子ども食堂は、
何か所あるでしょうか？

- ①3 か所 ②6 か所 ③12 か所

答え…②(R7年8月29日現在)



清田区各地区福祉のまち推進センター 運営委員長のご紹介です！

清田区内には5カ所の地区福祉のまち推進センターが設置・運営されています。

30周年を迎えるこの取り組みは、略称「福まち」の言葉で地域に浸透しつつあり、多くの関係者の方々に支えられ今日に至っています。特にこの活動は、中核を担う地区福まち推進センターの運営委員長さん(5名)の存在なしには成り立ちません。いずれの方も地域の「お顔役」で、既におなじみの方も少なくないと思います。今回は、改めまして5名の方々にこれまでの取り組みで、印象深かったこと(良かった等)、もう一つは、今後に向けての抱負(メッセージ)などのお話を頂きましたので、ここで紹介をいたします。

里塚・美しが丘地区福祉のまち推進センター 運営委員長 後藤美智子 さん

※清田区福祉のまち推進センター 運営委員長を兼務

- 町内会長職に長く就任していました。その関係もあり、胆振東部地震時は、率先して一人暮らしの高齢者の方々の安否確認に回りました。その際、「私の声を聴いて安心した!」と言って頂いたことは特に印象に残っています。
- 平成29年から、福まち活動について、地域を中学校区ブロック別での活動にしたことで、町内会長・民生委員児童委員・福祉推進員が情報交換できるようになりました。これからは、若い世代に私たちが、元気で過ごすために、楽しく活動している姿を見せたいと思います。



北野地区福祉のまち推進センター 運営委員長 河本 タカ子 さん

- 地域における支援活動も30年前とは大きく様変わりし、高齢者の福祉に対する情報が多様化し選択肢が増えていきます。高齢者の楽しみと出会いの場として、介護予防事業が地域を支える住民の力になっています。
- 人生百年時代と言われており、いかに健康寿命を維持できるかが重要です。年を重ねるたびに余病と付き合いながらも、少しでも元気で過ごすためには、社会参加の第1歩として、友人・知人との交流の場へ出かけることが大切です。

清田中央地区福祉のまち推進センター 運営委員長 森 謙一 さん

- 町内会活動をしていた関係で定年退職を機に福まち活動に携わることになり「地区福まち」が地域の日常生活支援活動に果たす役割の大きさを再認識し、日々、仲間に学びつつ活動推進中のところです。
- 清田中央地区福まちの特徴としては交流会、研修会等の事業活動は活発です。ただ、福まち活動の根幹といえる日常生活支援(見守り・訪問等)の活動が足踏み状態であることは否めないとも感じています。今後、みなさんの協力も得つつ現状改善に努めます。



平岡地区福祉のまち推進センター 運営委員長 船木 秀由 さん

- 「認知症について考える!高齢者 SOS 検索研修会」でのこと。福まち役員5人による寸劇がありました。ある真夏の昼下がりに迷った徘徊高齢者を囲んでの住民の接し方、家族の悩み等の20分程度の演技は、高齢化が進む中、考えさせられ印象深かったです。
- 「この町で住み続けたい!」の想いに添う行事を町内会や民児協、関係機関のご指導と連携で進めます。子育てサロンでは、一層の充実で幼児に夢を、保護者には育児相談や親睦の場として「安心・安全」を届けたい。皆さんのご参加をお待ちしております。

清田地区福祉のまち推進センター 運営委員長 今野 哲郎 さん

- イベントを実施した際、高齢者の方々が久しぶりに元気で会って、楽しそうに語っているのを見させていただいたことは、楽しいコミュニケーションの場は生活に潤いをもたらすものだと思います。
- 高齢化が進行する社会の中、無理せず、力まず、出来ることに集中して活動していきたいです。特に体力的な懸念はありますが、自然と接する機会を増やし、周りの環境へ慈しみを持って日々、過ごしていただきたいです。



「みんなと一緒に、 楽しいつながりを!!」

▶ 清田区福祉のまち推進センター 活動交換会

講演に対する
参加者からの声
(アンケート結果からの抜粋)

「福まちの未来に希望を感じました！」
「仲間づくりの大切さを痛感しました。近い世代での活動もやはり楽しく
行うことが大事だということを再認識させられました。」
「地域活動には「楽しさ」が必要であることを学びました。若い人も積極的に
町内会や福まちに携わっている事例は、力強く素晴らしい！ 励まされました。」

○と き：令和7年8月29日（金）13:30～15:30

○ところ：清田区民センター 大ホール

○参加者：164名

1. 福まち30周年～地域社会はどう変わったか
札幌市福祉のまち推進事業（福まち）が、
平成7年度にスタートして、今年で30年！

30年前（平成7年）は、
皆さんどうしていましたか？

清田区誕生：平成9年（1997年）11月

清田地区、清田中央地区、北野地区、平岡地区

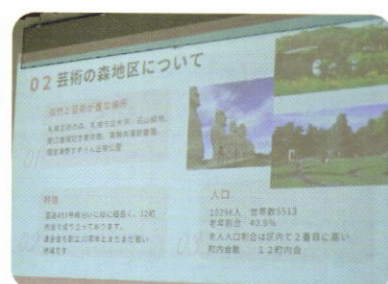
※里塚・美しが丘地区は、平成9年4月に誕生

講演

「福まち活動の原点と直面する課題・その解決に向けて
～地域活動の担い手の確保・育成及び拡充のヒントについて～」

◆講師：札幌市社会福祉協議会 地域福祉部長 大石 純氏

前半の大石部長からの講話では、福まちが始まった30年前の状況や課題と現代の課題について、
各種データの活用に加えて、新たな動向を交えながら、仲間づくりや担い手の発掘など、みんなが話
せる雰囲気づくりの大切さについて説明がありました。



活動
紹介

「芸術の森地区福祉のまち推進センターの取り組み」

◆発表者：芸術の森地区福祉のまち推進センター
運営委員長 澤村 和美 さん（写真左）

◆アシスタント
札幌市南区社会福祉協議会 神園 綾香 職員（写真右）

後半の澤村運営委員長からは、担い手拡充のためには福まちの周知が必要。広
報誌だけでなく、町内会連合会や地域の大学とも連携しながら、各種イベント
に積極的に参加すること。実際に福まちのメンバーにならなくても、「いざ活動！」
となったときに協力を得ることが出来る人を増やすことが重要であり、そのため
にも、とにかく顔つなぎが大切であることについてなどのお話がありました。



今年度の福祉のまち推進センター活動交換会は、2部構成で行われました。前半は、札幌市社協の地域福祉部長から
の講話。後半は、南区芸術の森地区福祉のまち推進センター運営委員長さんからの報告を頂きました。各アンケー
ト結果の声に代表されるように、参加者にとって大変、有意義な機会となりました。



ホームヘルパーって どんな仕事？

現在、介護人材の不足が社会問題となっていますが、その中でも、ホームヘルパーの人材確保は、施設の介護職員と比較して特に深刻な状況にあると言われています。

介護やホームヘルパーと聞くと、難しい・大変といったイメージを持つ方も多いですが、ホームヘルパーをしている職員にその実際を聞いてみると、魅力がたくさん詰まった仕事であることが分かりました。

そんな魅力あるホームヘルパーの仕事について2回にわけてシリーズでお伝えします。

ホームヘルパーの仕事の内容とは？

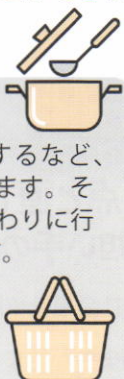
1) 仕事の内容は？

住み慣れた自宅で自立した生活続けることができるように支援するのがホームヘルパーの主な仕事になります。

生活援助



- 掃除、調理、洗濯 など
 - ・ご本人と一緒に掃除や調理をするなど、援助をしながら自立支援を促します。その点が、原則全てをご本人の代わりに行う「家政婦」との大きな違いです。
- 買い物代行
 - ・ご本人と買う物の内容を考えて、買い物を代行します。



身体介護

- 食事介助、入浴介助、排泄介助 など
 - ・ご本人の身体状況や認知面などについて配慮しつつ、介助を行います。
- 外出介助、買い物同行
 - ・ご本人の外出を支援したり、買い物を一緒に行います。



ホームヘルパーをやってみてどうですか？

【きっかけ】

20年前に知人の紹介でヘルパーセンターに入社しました。子供も小さく3人もいたため、急なお休み等にも対応してくれてとても良い職場に恵まれました。

【やりがい】

ご利用者様と一緒に掃除や調理を出来た事やガン末期のご利用者様を看取ったことは私の人生の中でも印象深く、大変やりがいを感じた機会でした。

【今後について】

社会福祉協議会の一員として、これからもご利用者様の支援が出来るように視野を広く持ち頑張ります。

【この仕事に興味がある方へメッセージ】

敷居が高い介護業界ですが、あなたを必要としているご利用者様がいます。大きな心で思い切って「ヘルパーセンター」の門を叩いて下さい。



小学校での車椅子体験

わたしたちと一緒に働きませんか？ あなたのちからが必要です！

本会では、採用時の研修や、資格取得の支援も行っています。

また、実際に活動を始める際には、しっかりとした引継ぎを行い、先輩ホームヘルパーの同行も行います。各種マニュアルも用意しています。

常勤やパートタイムと働き方も選べて、休暇の取得もし易く、子育て世代にも働きやすい環境です。

興味のある方は、ぜひ札幌市社会福祉協議会のホームページをご覧ください！



白厚清ヘルパーセンター
深澤所長に聞きました



有償ボランティア 登録説明会のご案内

地域支え合い有償ボランティア事業(ほっ・と支え愛事業)とは…

主に高齢者・身体の不自由な人・産前産後の方の高齢者や障がいのある方
「ちょっと困った」を助け合う会員登録制の有償ボランティアです。

活動概要

えぷろんサービス (家事支援)



調理、掃除、洗濯、
買い物、ゴミ出しなど

おでかけ同行サービス (外出援助)



軽介助を伴う外出
※通院、散歩など

- ◆活動費 200～550円(30分) ※活動内容による
- ◆交通費 実費 ※公共交通機関使用の場合

12月2日(火) 9:30～13:00 (受付 9:00～)

会 場	清田区役所 大会議室 札幌市清田区平岡1条1丁目 清田区総合庁舎3階
持ち物	筆記用具・入会金 1,200円 写真(3cm×3cm お顔がわかるものであれば切り抜きでも可) 活動費の振込先情報(本人名義の支店名・支店番号・口座番号)
対象者	関心のある方はどなたでも ※70代～80代の方も活動中!
お問い合わせ・ 申込先	社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会 ほっ・とプラザ 札幌市中央区大通西19丁目1番1号 札幌市社会福祉総合センター 4階 電話: 011-623-4010 FAX: 011-623-0004

ホームページからも
お申込みできます!





赤い羽根共同募金 あたたかいご寄付ありがとうございました

☆令和7年度☆ ～赤い羽根共同募金への寄付紹介～
(令和7年6月1日～9月30日現在)

北海道札幌平岡高等学校様
..... 21,127 円

学校祭での収益金をご寄付いただきました。



北海道札幌平岡高等学校 様
からのご寄付

令和7年度賛助会員へご加入いただきありがとうございます。

本会の賛助会員として加入いただきました皆さまをご紹介します。
この会費は、本会事業の財源として、清田区内の地域福祉活動に役立てています。

「団体会員」～1口:10,000円から～ (令和7年6月1日～9月30日現在)

- こもれびの街町内会 様

「個人会員」～1口:1,000円から～ (令和7年6月1日～9月30日現在)

- 小湊 龍三 様
- 河本 タカ子 様
- 杉岡 洋子 様
- 山崎 敦子 様
- 猪野毛 昭男 様
- 匿名 1名

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会

やさしさをしごとに / ホームヘルパー募集中

初任者研修受講費用
キャッシュバック
制度有(要件有)

ライフスタイルに
合わせた働き方が
可能

研修・記録・移動等の
諸手当が充実

私たちと一緒に
はたらきませんか♪

札幌市社会福祉協議会 白石・厚別・清田ヘルパーセンター
札幌市厚別区大谷地東2丁目4-1 交通局本局庁舎6階 電話:011-896-9610



発行

札幌市清田区社会福祉協議会

〒004-8613 札幌市清田区平岡1条1丁目 清田区総合庁舎3階
TEL 889-2491 FAX 889-2492

この「清田区社協だより」は、赤い羽根共同募金の配分金の助成を受けて発行しています。



毎月3日は 見守り訪問の日

